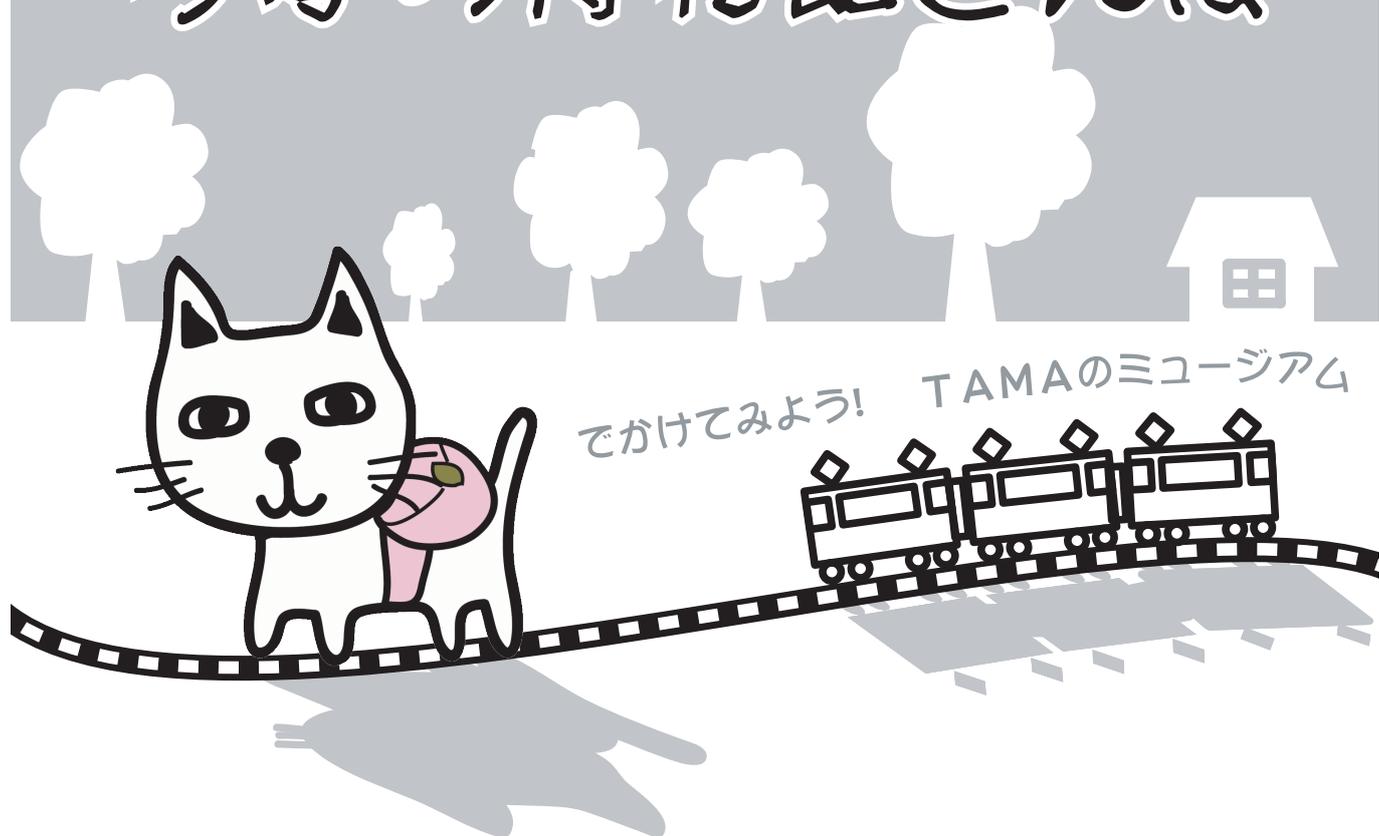


催し物案内2024年度春・夏号

2024年4月～2024年9月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会では、公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<https://tamahaku.jp>) やエックス (旧ツイッター) を通じ、さまざまな情報を公開しています。「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。多摩地域の博物館をめぐるしてみませんか！

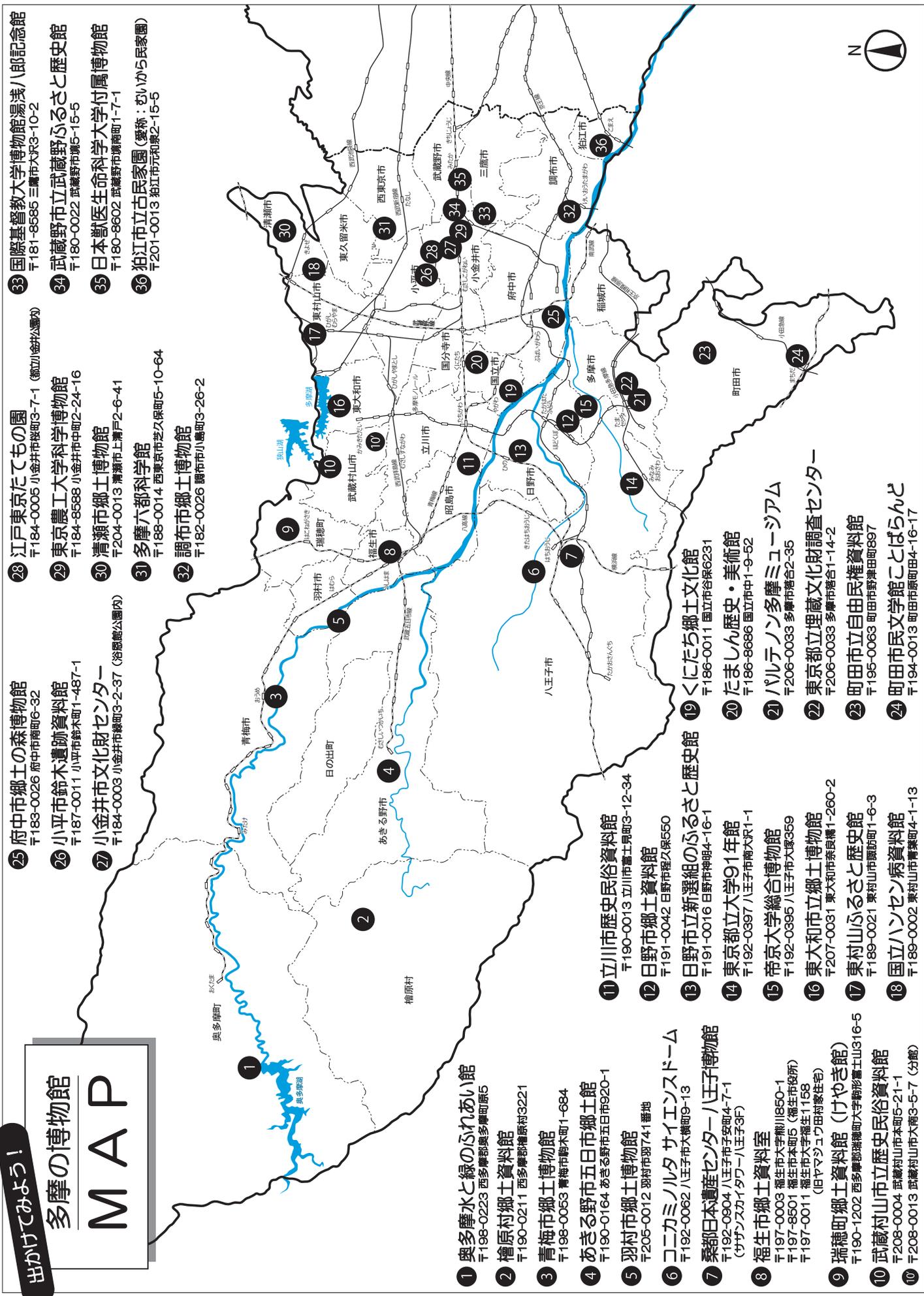


[HP]



[X]

※諸事情により催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。



- 出かけてみよう!**
多摩の博物館
MAP
- 25 府中市郷土の森博物館
〒183-0026 府中市南町6-32
 - 26 小平市鈴木遺跡資料館
〒187-0011 小平市新木町1-487-1
 - 27 小金井市文化財センター
〒184-0003 小金井市線町3-27 (裕福館公園内)
 - 28 江戸東京たてももの園
〒184-0005 小金井市線町3-7-1 (新立(金井)公園内)
 - 29 東京農工大学科学博物館
〒184-8588 小金井市中央町2-24-16
 - 30 清瀬市郷土博物館
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-6-41
 - 31 多摩六都科学館
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
 - 32 調布市郷土博物館
〒182-0026 調布市小島町3-26-2
 - 33 国際基督教大学博物館湯浅/八郎記念館
〒181-8585 三鷹市大沢3-10-2
 - 34 武蔵野市立武蔵野のさと歴史館
〒180-0022 武蔵野市旗5-15-5
 - 35 日本獣医生命科学大学付属博物館
〒180-8602 武蔵野市旗南町1-7-1
 - 36 狛江市立古民家園 (登録：むいから民家園)
〒201-0013 狛江市元和東2-15-5

- 1 奥多摩水と緑のふれあい館
〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5
- 2 檜原村郷土資料館
〒190-0211 西多摩郡檜原村322-1
- 3 青梅市郷土博物館
〒198-0063 青梅市新木町1-684
- 4 あきる野市五日市郷土館
〒190-0164 あきる野市五日市920-1
- 5 羽村市郷土博物館
〒205-0012 羽村市現741番地
- 6 コニカミノルタ サイエンスドーム
〒192-0062 八王子市大橋町9-13
- 7 桑都日本遺産センター/八王子博物館
〒192-0904 八王子市安町4-7-1
(ササノスカイタワー/八王子3F)
- 8 福生市郷土資料室
〒197-0003 福生市大字糠川1850-1
〒197-8601 福生市本町5 (福生市役所)
〒197-0011 福生市大字福生1158
(旧ヤマシユウ田村家住宅)
- 9 瑞穂町郷土資料館 (げやき館)
〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士11316-5
- 10 武蔵村山市立歴史民俗資料館
〒208-0004 武蔵村山市本町5-21-1
〒208-0013 武蔵村山市大南3-5-7 (分館)
- 11 立川市歴史民俗資料館
〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- 12 日野市郷土資料館
〒191-0042 日野市程久保550
- 13 日野市立新選組のさと歴史館
〒191-0016 日野市海町4-16-1
- 14 東京都立大学91年館
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- 15 帝京大学総合博物館
〒192-0395 八王子市大塚359
- 16 東大和市立郷土博物館
〒207-0031 東大和市奈良橋1-260-2
- 17 東村山ふるさと歴史館
〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3
- 18 国立ハンセン病資料館
〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13
- 19 くたち郷土文化館
〒186-0011 国立市谷保6231
- 20 たましん歴史・美術館
〒186-8686 国立市1-9-52
- 21 パルテノン多摩ミュージアム
〒206-0033 多摩市港台2-35
- 22 東京都立埋蔵文化財調査センター
〒206-0033 多摩市港台1-14-2
- 23 町田市立自由民権資料館
〒195-0063 町田市野津田897
- 24 町田市民文学館ことばらんど
〒194-0013 町田市原町4-16-17

- 3 青梅市 日の出町
- 4 あきる野市
- 5 羽村市
- 6 八王子市
- 7 日野市
- 8 福生市
- 9 瑞穂町
- 10 武蔵村山市
- 11 立川市
- 12 日野市
- 13 日野市
- 14 東京都立大学
- 15 帝京大学
- 16 東大和市
- 17 東村山
- 18 国立ハンセン病資料館
- 19 国立市
- 20 国立市
- 21 多摩市
- 22 多摩市
- 23 町田市
- 24 町田市
- 30 武蔵野市
- 31 西東京市
- 32 調布市
- 33 三鷹市
- 34 武蔵野市
- 35 武蔵野市
- 36 狛江市

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

1	奥多摩水と緑のふれあい館 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日）、 12.28～1.4	入館料	無料	☎ 0428-86-2731
<p>奥多摩の自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業などの展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●春の奥多摩ミニコンサート（4.27・28） ●水道週間（6.1～6.7） ●写真展（7.1～7.30） ●館内スタンプラリー等（8.1～8.31） ●水源郷土芸能イベント（獅子舞、鹿島踊）（9.8） <p>【URL】 http://www.okutama.gr.jp/</p>						

2	檜原村郷土資料館 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。					
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始	入館料	無料	☎ 042-598-0880
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。 ●特別展「夏休み昆虫標本展」（8.1～8.31）主に村内で採集された昆虫約450点を展示。 ●特別展「檜原村のお祭り写真展」（9.15～10.14）檜原村で行われている神事・郷土芸能の写真約50点を展示します。 <p>【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/0000000019.html</p>						

3	青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 0428-23-6859
<ul style="list-style-type: none"> ●新収蔵品展 2024（4.20～8.4）令和5年度に寄贈を受けた新収蔵品を中心に紹介します。 ●文化財住宅の五月人形展示（4.27～5.19） 【URL】 https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/ 						

4	あきる野市五日市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法草案関係の資料を展示。					
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始（12.27～1.4）	入館料	無料	☎ 042-596-4069
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。 ●ミニ企画展「郷土の古文書その37 伊勢参宮道中日記（一）」（～4.30） ●ミニ企画展「郷土の古文書その38 伊勢参宮道中日記（二）」（5～10月） 享保年間に伊奈村（あきる野市伊奈）の名主が残した伊勢参りの道中日記を紹介します。全4回。 ●年中行事（旧市倉家住宅） 五月人形（4～5月）、七夕飾り（7月）、蚊帳展示（8月）、十五夜（9月） ●栽培展示（旧市倉家住宅）旧市倉家住宅の畑で季節の野菜や穀物を栽培しています。 <p>【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</p>						

5	羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。					
開館時間	9:00～17:00（旧下田家住宅は9:00～16:00）	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-558-2561
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「こいのぼりと五月人形展」（4.13～5.12） 甲冑飾りや武者人形、こいのぼりを展示します。 ●季節かざり「七夕かざり」（6.15～7.7） 来館者が願い事を書いた短冊を吊り下げることができる七夕かざりを展示します。 ●ミニ展示「郷土絵はがき原画展（仮）」（8.17～9.1） 当館で作成した絵はがきの原画を展示します。 ●体験学習会「まゆから糸をひこう！」（8.11） 蚕の繭から糸をひく体験や、真綿を作る体験ができます。 ●季節かざり「お月見かざり」（9.14～9.22） 中秋の名月に合わせて、お月見かざりを展示します。 <p>【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>						

6	ユニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館）					
	プラネタリウムと基礎物理や宇宙を中心とした参加体験型の展示。					
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜9:00～12:00は事前予約団体専用）	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など（春・夏・冬休み期間は無休）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円（プラネタリウム料金別、セット割引有り）	☎ 042-624-3311
<p>●プラネタリウムでは「それいけ！アンパンマン～空の色と星の色」、「プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて」、「ウォーキング with ダイナソー ～太古の地球へ」、「宇宙ヒストリア～138億年、原子の旅」、「スターオーシャン～太陽系外惑星への航海」を投影（投影日、開始時刻等はホームページでご確認ください）。</p> <p>「生解説プラネタリウム 星空さんぽ」季節の星座や天文現象を解説（第二日曜）。</p> <p>「全編生解説プラネタリウム」4～6月のテーマは「星を見る動物」。7月から新テーマ（第四日曜）。</p> <p>「トワイライトプラネタリウム」月1回土曜日の午後6時に投影。</p> <p>「二人の銀河鉄道～賢治と嘉内の青春」（4.20、5.11、6.15、7月から新番組）</p> <p>「星空観望会」5.18「月ほか」</p> <p>「太陽観望会」5.3、11月</p> <p>「星空コンサート」6月予定（予約制、HPから申込）</p> <p>●土日祝、春休み、夏休みには親子で楽しめる工作教室などを開催（当日先着順または予約制、HPから申込）。</p> <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</p>						

7	桑都日本遺産センター 八王子博物館					
	日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。					
開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎ 042-622-8939
<p>桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）は、都内で唯一の「日本遺産」に認定されたストーリー、「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を紹介しています。桑都と呼ばれる八王子の魅力にあふれる、市内各地の文化財へあなたを誘います。</p> <p>●桑都ものがたり「桑都と八王子」（4.6～7.8） 日本遺産のストーリーのテーマを象徴する高尾山や八王子織物をはじめ、「桑都八王子」にまつわる資料を展示します。</p> <p>●コーナー展「戦時下の八王子（仮）」（7.13～9.29） 昭和の時代に市民が経験した戦時下の暮らしやまちのようすについて展示します。</p> <p>●コーナー展「オリンピックと八王子（仮）」（7.13～9.29） 八王子で行われた二度のオリンピック東京大会。1964年大会と2020年大会の資料を展示します。</p> <p>●紙芝居の上演会 ガイドボランティアが製作した紙芝居を上演します。「松姫ものがたり」（4.28）、「八王子の大久保長安」（5.26）、「八王子城主北条氏照」（6.30）、「八王子空襲」（7.28）、「松姫ものがたり」（8.25）、「八王子の大久保長安」（9.29）</p> <p>【URL】https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html</p>						

8	福生市郷土資料室					
	福生を中心とした地域の多摩の歴史・民俗・自然を紹介します。 令和6年1月24日、より福生の魅力を感じられる展示内容にリニューアルしました。					
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始、展示替え期間	入館料	無料	☎ 042-530-1120
<p>●郷土資料室企画展示</p> <p>「むかし絵画家 松下紀久雄展 一人を描くー」（4.27～6.23） 福生市郷土資料室で所蔵するむかし絵画家松下紀久雄氏の作品の中から人物が描かれた作品を紹介する展示を行います。</p> <p>「平和のための戦争資料展」（6.29～8.25） 終戦の日に合わせて、戦争資料を通して平和の大切さを再認識することを目的とした企画展示を行います。</p> <p>「栗原一郎展（仮）」（8.31～9.23） 福生市出身で著名な現代洋画家として知られる栗原一郎氏の作品を展示します。</p> <p>「青梅鉄道開通130年記念鉄道展（仮）」（9.28～11.24） 青梅線の前身である青梅鉄道開通130年を記念して、鉄道に関する展示を行います。</p> <p>●市役所出張展示</p> <p>「平成のおもちゃとむかしの遊び展」（4.15～6.29） 福生市郷土資料室資料室で所蔵する平成のおもちゃを展示します。</p> <p>「戦争展（仮）」（7.1～8.24） 福生市郷土資料室で行う戦争資料展に合わせ、戦争資料の展示を行います。</p> <p>「鉄道展（仮）」（8.26～11.22） 福生市郷土資料室で行う鉄道展に合わせ、所蔵する鉄道に関する展示を行います。</p> <p>●旧ヤマジウ田村家住宅主屋季節展示</p> <p>「戦時下の生活と涼をとる道具展」（6.22～9.19） 福生市郷土資料室で行う戦争資料展に合わせ、戦時下の生活が分かる道具と、夏の暮らしを伝える道具の展示を行います。</p> <p>※このほか、旧ヤマジウ田村家住宅ギャラリーでは、窪田成司氏による記憶画の展示を季節ごとに入れ替えながら行っています。</p> <p>【URL】https://www.museum.fussa.tokyo.jp</p>						

9	瑞穂町郷土資料館（けやき館）					
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることがあります）	☎ 042-568-0634
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「近代制服図鑑」（4.1～6.16） 武蔵村山市の進藤農業資料館（非公開）が収蔵する貴重なコレクションの中から、近代に使われていた制服を展示します。 ●パネル展「『源氏物語』に詠まれた万葉の草花」（4.1～6.2） テレビドラマで話題の紫式部とコラボレーションして、『源氏物語』の中で詠まれた和歌から、万葉の草花を用いた歌を、その草花の写真とともに紹介します。 ●ミニ展示 昆虫標本展「人と昆虫」（4.5～5.26） 岡部廣氏が所蔵するコレクションの中から、昆虫と人間の関わりをテーマにした標本を展示します。 ●企画展「（仮）司馬遼太郎展」（7月中旬～9月中旬） 『こどもはオトナの父—司馬遼太郎の心の手紙』に導かれ、司馬遼太郎が書いた二つの教材を軸に、瑞穂町の小学生と司馬遼太郎との感想文のやり取りについて紹介します。 <p style="text-align: right;">【URL】 https://mizuhokyodo.jp</p>						

10	武蔵村山市立歴史民俗資料館 分館					
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。武蔵村山の戦争資料をもとに戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	本館：第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3 分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎ 本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展「丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～」 ●年中行事展「端午の節供」（4.13～5.12） ●年中行事展「七夕飾り」（6.29～7.7） ●夏休み子ども展示「遺跡ってなあに？（仮）」（7.13～9.8） ●夏休み親子体験教室「縄文ポシェットを作ろう（仮）」（7.27、8.24） <p>分館</p> <ul style="list-style-type: none"> ●常設展：戦時中（アジア・太平洋戦争）の武蔵村山 <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishimizoku/index.html</p>						

11	立川市歴史民俗資料館					
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-525-0860
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。 ●ミニ企画展「端午の節句」（4.2～5.6） 市民のみなさまから寄贈された五月人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。 ●企画展「新収蔵品展」（6.11～7.7） 令和5年度に新たに寄贈された資料の一部を公開します。 ●ミニ企画展「七夕飾り」（7.2～7.7） 季節に合わせて七夕飾りを展示します。 ●企画展「立川の遺跡 2024」（7.23～9.1） 令和5年度に市内で出土した資料などを展示します。 ●写真展「立川駅前の移り変わり」（9.7～10.6） 博物館学芸員実習生による企画展です。立川駅前の変遷を写真で紹介いたします。 <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishimizoku/index.html</p>						

12	日野市郷土資料館					
	日野の歴史・民俗・自然と幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-592-0981
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「千歯抜き探偵団～文字からたどる農具の流通～」（4.20～7.7） 千歯抜きを通して、資料の見方、調べ方を紹介します。 ●企画展「（仮）身近な自然観察」（7.13～9月 終了日未定） 子どもから大人まで、身近な自然の楽しみ方を紹介します。 <p>※詳細は館HPをご確認ください。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 https://www.city.hino.lg.jp/museum/index.html</p>						

13 日野市立新選組のふるさと歴史館 土方歳三・井上源三郎のふるさと日野で新選組や幕末維新、甲州道中などに関する展示を行っています。

開館時間	9:30～17:00 (最終入館は16:30)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、 12.29～1.3	入館料	大人200円、小・中学生50円	☎	042-583-5100
------	----------------------------	-----	------------------------------	-----	-----------------	---	--------------

●企画展「描かれた新選組X(テン)～新選組フェスタ in 日野20周年～」(4.27～6.30)
大河ドラマ「新選組!」が放映された頃の新選組創作の動きを展示します。

●子どもから楽しめる新選組関係展示(7.6～9.23予定) 新選組と日野の関係、幕末史の流れの中に新選組を位置づけて紹介する展示。石田散策作りや天然理心流体験などの講座、スタンプラリーなども開催する予定です。
【URL】<https://www.city.hino.lg.jp/shinsenr/>【X(旧Twitter)】@shinsenr

14 東京都立大学91年館 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。

開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・ 春季休業期間ほか(臨時休館あり)	入館料	無料	☎	042-677-1111 内線2041
------	-------------	-----	-------------------------------------	-----	----	---	------------------------

●常設展
本学内の7分野(動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学)が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。東京都立大学の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介します。
【URL】<https://kyomu.jim.tmu.ac.jp/kyousyoku.html>

15 帝京大学総合博物館 帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	日曜日、祝日、創立記念日、臨時 休館日	入館料	無料	☎	042-678-3675
------	----------------------------	-----	------------------------	-----	----	---	--------------

●企画展「南の楽園マリアナ諸島の物語ーあなたはグアム・サイパン・ロタ・ティニアン島を知っていますか?ー」
(5.18～8.16)
主催:帝京大学教育学部中山京子研究室
概要:グアムや北マリアナ諸島は一般的に「南の楽園」というイメージが強いでしょう。グローバル化の波に翻弄され、スペイン、ドイツ、日本、アメリカの統治を経験する中で、力強くアイデンティティや文化を継承してきた島の人々の営みや、ユニークな魅力を紹介します。
※詳細・その他展示は館HP・SNSでご確認ください。
【URL】<http://teikyo.jp/museum/>

16 東大和市立郷土博物館 東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。
プラネタリウムクリエイター大平貴之氏の投影機メガスターが評判。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)	☎	042-567-4800
------	------------	-----	------------------------	-----	--------------------	---	--------------

●プラネタリウム春番組(～6.9)/プラネタリウム夏番組(6.15～9.8)/プラネタリウム秋番組(9.14～)
●企画展示「たかが30年 されど30年」(～5.12) ●企画展示「なつ・ほし・むし」(7.20～9.8)
●その他各種講座を随時開催
●旧日立航空機株式会社変電所一般公開(毎週水・日曜日、10:30～16:00)
●旧吉岡家住宅 春の公開(5.24～5.26)
※予定は変更になる場合がありますので、ご来館前に市公式ホームページをご確認ください。
【URL】<https://www.city.higashiyamato.lg.jp/bunkasports/museum/index.html>

17 東村山ふるさと歴史館 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。

開館時間	9:30～17:00 (入館は16:30まで) ※八国山たいけんの里も同	休館日	月・火曜日(祝日の場合は開館し、 その翌日以降の平日が休館) ※八国山たいけんの里も同	入館料	無料 ※八国山たいけんの里も同	☎	042-396-3800 042-390-2161
------	--	-----	---	-----	--------------------	---	------------------------------

●企画展「写真で見る東村山の春・初夏の生き物」(4.27～6.30)
市内で撮影された動物や植物、キノコ等の写真を展示します。自然観察会(①5.12、②6.9)事前申込。

●夏休み展示「自由研究のたね」(7.20～8.25)
自由研究を何にしようか考えている皆さんに、東村山についての「自由研究のたね」をたくさん用意します。また、東村山市について深く知りたい人もお越しくください。

●多磨全生園を知る上映会(6.22)
視聴覚室にて、ハンセン病に関する映像作品の上映会を開催します。詳細は6月以降、当館ウェブサイトでご確認ください。

●資料整理のため臨時休館(9.4～9.6)

◆東村山ふるさと歴史館【URL】<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/>
◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1【URL】<https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/>

18

国立ハンセン病資料館

ハンセン病問題に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。

開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、 年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎	042-396-2909
------	----------------------------	-----	--------------------------------	-----	----	---	--------------

●企画展「絵ごころでつながる—多磨全生園絵画の100年」(～9.1)

本展は、入所者の絵画作品を初めて展示した「第壹回絵画会」(1923年)を起点とする多磨全生園における絵画活動100年のあゆみを一望し、初公開のものを含む多くの絵画作品を関連資料とともに紹介します。関連イベントとして、担当学芸員によるギャラリートーク、講演会、絵画展等を開催します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

●常設展示ガイド(毎月数回実施)

学芸員による展示ガイドを行います。いずれも予約不要、定員20人です。詳細は当館ホームページをご覧ください。

4.7フルガイド(10:00-11:00)、4.13スポットガイド(15:00-15:30)、4.21スポットガイド(11:00-11:30)

7月～8月に夏休みの子どもの向け展示ガイド等を計画しています。詳細は追ってHPに掲載します。

【URL】<http://www.nhdm.jp/>

19

くにたち郷土文化館

国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2・4木曜日(祝日の場合は翌日)、 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-576-0211
------	----------------------------	-----	---------------------------------	-----	----	---	--------------

●共催企画展「第25回 紙の工芸展」(5.25～6.16)

折り紙・ちぎり絵・彩人形・ペーパークラフトなど、「紙」を素材にした様々なジャンルの作品を展示します。紙の可能性や作品の美しさ、日々の創作活動の成果をお楽しみください。

共催：紙の工芸展実行委員会

●季節の飾り付け「こいのぼり・五月人形飾り」(4.20～5.6)

国立市古民家とくにたち郷土文化館に、こいのぼりと五月人形を飾り付けます。

【URL】<https://www.kuzaidan.or.jp/province/>

20

たましん歴史・美術館

多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日	入館料	100円 ※中学生以下無料	☎	042-574-1360
------	-----------------------------	-----	--------	-----	------------------	---	--------------

たましん歴史・美術館(国立)

●「日本漫画会 最近三十年史図絵展 ～併設：たましんコレクションの近代絵画～」(4.6～7.14)

日本初の漫画家集団「東京漫画会(日本漫画会)」による風刺画を展示します。併設展示ではたましんコレクションの中から近代洋画をご紹介します。

●「たましんコレクション展2(仮)」(7.27～11.10)

たましん美術館(立川)

●「めぐる、であう コレクションのなりたち」(4.13～5.26、6.1～7.7)

●「浮世絵 歌川広重「名所江戸百景」」(7.20～9.16)

※展示内容、会期は変更となる場合があります。

※詳細は館HPでご確認ください。

【URL】<https://www.tamashinmuseum.org/>

21

パルテノン多摩ミュージアム

地域まるごと博物館のコアとして多摩市と多摩ニュータウンを自然と歴史の視点で紐解く。

開館時間	10:00～17:30	休館日	館の休館日に準ずる(月1～4日と年末 年始)	入館料	常設展は無料	☎	042-375-1414
------	-------------	-----	---------------------------	-----	--------	---	--------------

●特別展「航空斜め写真を撮影して街の姿を未来へ残そう！記念写真展」(5.3～5.27)

クラウドファンディングにより2023年に撮影が実現した航空斜め写真の撮影成果を、これまでに蓄積された航空斜め写真と比較をしながら紹介し、街の移り変わりを確認します。※関連講座としてみんなの記憶を記録する講座を予定

●企画展「鉄道が街にやって来た～多摩ニュータウン鉄道開通50年～」(5.30～11.10)

多摩ニュータウンに鉄道が開通して本年度で50周年を迎えるのを記念し、鉄道開通までの経緯や、開通後の変遷、多摩ニュータウンで活躍した鉄道車両などを紹介します。

●4階廻廊では市民学芸員やミュージアムのさまざまな成果を定期的に展示しています。

●街角アート鑑賞ツアー@TAMA(聖蹟桜ヶ丘コース)(5.26)

※事業の詳細はパルテノン多摩HPをご覧ください。

【URL】<https://www.parthenon.or.jp/museum>

【X(旧Twitter)&Instagram ID】@par_tama_museum

【Facebook】<https://www.facebook.com/25thparthenon>

22	東京都立埋蔵文化財調査センター					
	多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。					
開館時間	9:30～17:00 (11～2月は遺跡庭園のみ16:30まで)	休館日	年末年始 (12.29～1.3) 臨時休館 (10.25/11.25/2.3) 展示替え (3月上旬～中旬)	入館料	無料	☎ 042-373-5296
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展示「多摩の“なんで!?”な出土品」(～2025.3.9) ●年中行事 「縄文の村」自然観察会① (4.13)、企画展示解説会① (4.13)、勾玉・耳飾り作り① (5.11)、縄文の布作り① (5.11)、トンボ玉作り①・② (6.1)、古代の糸作り① (6.22)、映像上映会① (7.6)、親子縄文土器作り (7.20)、親子勾玉作り①・② (7.24)、親子縄文レリーフ作り (7.27)、親子縄文土器観察会 (7.31)、親子火おこし道具作り (8.10)、親子縄文の布作り① (8.10)、親子勾玉作り③・④ (8.15)、縄文土器の野焼き① (8.17)、親子縄文の布作り② (8.19)、おひさま考古学教室①・② (8.22、8.23)、木の実でシャボン玉 (8.27)、縄文土器作り (1回2日間、8.31、9.1)、古代の糸作り② (9.14)、縄文土器の野焼き② (9.21)、学芸員ギャラリートーク① (9.21)						
※申込方法、締切など詳細はホームページをご覧ください。 【URL】 https://www.tomaibun.jp 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/tokyo_maibun						

23	町田市立自由民権資料館					
	多摩地域・武相地域の自由民権運動と町田の歴史を紹介。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 (12.28～1.4)	入館料	無料	☎ 042-734-4508
【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/machida_minken						

24	町田市民文学館ことばらんど					
	「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介					
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)、毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)、年末年始 (12.29～1.4)	入館料	無料 (秋の企画展は有料)	☎ 042-739-3420
<ul style="list-style-type: none"> ●「57577展 2nd」(4.20～6.23) 短歌をテーマに双方向的なつながりを目指した展覧会。新進気鋭の歌人6人の作品展示のほか、観覧者も作歌に挑戦できるコーナーやイベントを通して短歌の魅力に迫ります。						
<ul style="list-style-type: none"> ●「チリとチリリーどいかや展(仮)」(7.20～9.23) 子どもたちに人気の「チリとチリ」シリーズの原画展。チリとチリと一緒に不思議な世界を冒険して自然や動物たちと触れ合い、ワクワク・ドキドキを楽しんでもらえる展覧会です。						
【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/machida_kotoba						

25	府中市郷土の森博物館					
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。※5.31まで休館					
開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	4・5月：全館休館 6月：月曜 7月：15を除く月曜、16～19 8月：12を除く月曜 9月：2,9	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料 (プラネタリウムは別料金)	☎ 042-368-7921
<ul style="list-style-type: none"> ●出張体験イベント(～5.26) 土・日・祝日は、府中駅前「ミッテン府中」に出張！ 工作や天文イベントを楽しめます。 ●特別展「鳥満員！昆虫レストラン(仮)」(8.10～9.29) 身近な生態系における食物連鎖をテーマに、昆虫と野鳥の生活戦略にスポットを当て、食う者、食われる者の視点で紹介。						
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「戦いと争い(仮)」(9.14～10.27) 府中を舞台にした合戦や江戸時代に勃発した村同士の争い、近代の戦争などを、市域に残る資料を中心に紹介。						
<ul style="list-style-type: none"> ●復元建物展示「養蚕農家の暮らし」(6.1～2025.3.30) 園内の旧河内家住宅を会場に、養蚕農家の暮らしを紹介。						
<ul style="list-style-type: none"> ●プラネタリウム番組(7.20～) 夏の夜空に広がるおまつり会場で、星の屋台や催し物などを巡るオリジナル生解説番組「プラネでわっしょい！夏まつり」(～9.1)、星空解説+映像番組「今夜の星空と“ショーティと魔法のサンゴ礁”」(～12.1)ほか。						
<ul style="list-style-type: none"> ●あじさいまつり(6.1～7.7) 園内に咲き誇るあじさいと古民家のコラボレーションは、郷土の森ならではの風景です。 ●曼珠沙華まつり(9.14～10.6) 秋の訪れとともに約38万球の曼珠沙華が園内を彩ります。 ※改修工事にとまない、全館休館中です。園内は6.1より、本館(展示室・プラネタリウム等)は7.20より再開予定。						
【URL】 https://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html 【X(旧Twitter)】 https://twitter.com/kyodo_no_mori						

26	小平市鈴木遺跡資料館					
	日本を代表する旧石器時代遺跡である国史跡「鈴木遺跡」から出土した貴重な旧石器を展示・公開しています。					
開館時間	10:00～16:00	休館日	月・火・木・金曜日、年末年始(12.27～1.5)	入館料	無料	☎ 042-323-2233
<p>●常設展示 国史跡「鈴木遺跡」は、都内最大規模の旧石器時代遺跡です。出土した旧石器の分析の結果、約2万2千年間にも及ぶ日本の後期旧石器時代初めから終末まで12の文化層の石器群が存在することが判明し、日本旧石器時代の移り変わりを明らかにしたことで名高い遺跡です。常設展示では、各時期ごとの石器群を古い方から年代順に展示しています。また、数多く出土した黒曜石も時期と産地ごとに一目でわかるように分類して展示しています。</p> <p>【URL】 https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html</p>						

27	小金井市文化財センター 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
	当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館期間(3.20～3.24、10月下旬)、年末年始(12.29～1.3)	入館料	無料	☎ 042-383-1198
<p>●名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業(～2025.4) 本年は1924年に国名勝に指定されて100年をむかえます。指定日の12月9日を中心に通年で記念事業を実施します。</p> <p>●季節展「名勝小金井桜」(3.23～5.26) 桜の花期に合わせた企画展。玉川上水堤の桜並木「名勝小金井(サクラ)」の歴史を錦絵や古写真で紹介。</p> <p>●記念式典(12.8) ●文化財講演会 ●地域史講座 ●小金井桜フォトコンテスト(～5.31) ●記念ブックレット作成</p> <p>●武蔵小金井駅連携事業「仮乗降場100周年・小金井桜100周年」 ●東小金井駅連携事業</p> <p>【URL】 https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html</p>						

28	江戸東京たてもの園					
	都内の歴史的建造物を移築、復元・保存・展示し、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。					
開園時間	4～9月:9:30～17:30 10～3月:9:30～16:30 (入園は閉園の30分前まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌平日) ※2024.4.1は臨時開園 年末年始(12.25～2025.1.1)	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎ 042-388-3300
<p>●展示室 「江戸東京たてもの園開園30周年記念特別展 江戸東京博物館コレクション展～江戸東京のくらしと乗り物～」(～7.7) 「特別展 街に写真館のあった頃～常盤台写真場と昭和モダン～」(7.27～9.23)</p> <p>●春夏の催し 「こどもの日イベント」(5.4、5.5) 「夜間特別開園 下町夕涼み」(8.3、8.4) 「綱島家年中行事」梅漬け・土用干し(5月下旬～8月土用の頃)、盆棚の展示(6月下旬～8.15)、十五夜飾り(9.12～9.17)</p> <p>●定例の催し ミュージアムトーク(4.27、5.25、6.22、7.27、8.24、9.28) 伝統工芸の実演 (4.13、4.14 江戸川区、5.11、5.12 練馬区、6.8、6.9 板橋区、7.13、7.14 江東区、8.10、8.11 墨田区、9.14、9.15 多摩地区) ※ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。</p> <p>【URL】 https://www.tatemonoen.jp/</p>						

29	東京農工大学科学博物館					
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。					
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日・月曜日、祝日、5.31(創立記念日)、年末年始等(12.28～1.3)	入館料	無料	☎ 042-388-7163
<p>●企画展「タイガー計算機展～西村コンピュータコレクションより～」(～6.1) 今回、東京農工大学科学博物館では大学所蔵の200台を超える機械式計算機資料に着目し、資料公開をする運びとなりました。最も多く所蔵されている機種はタイガー計算機です。2023年はタイガー計算機の1号機発売から100年という節目でありタイガー計算機をはじめとするコレクションを公開するほか、操作を体験できる実機のハンズオンコーナーを設けています。</p> <p>●国際博物館の日記念イベント(5.19)</p> <p>●サマーフェスタ(8.24)</p> <p>●東京農工大学科学博物館 東京農工大学創基150周年記念事業「掛図で学んだ時代～農工大の教育掛図公開～」(5.19～11.10) ※都合により休館日が変更される可能性があります。詳細はHP、X(旧Twitter)でご確認ください。</p> <p>【URL】 http://www.tuat-museum.org/</p>						

30 清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-493-8585
------	------------	-----	-------------------------	-----	----	---	--------------

- 特別展「清瀬駅 100 年の物語～駅とともに歩んだマチ 清瀬～」(6.9～9.1)
- 特別展関連イベント 展示解説(6.16、7.14、8.11、8.25)、記念講演会(6.22、7.27、8.31)、清瀬駅ブラリ街歩き(6.29)、クイズラリー(6.30～7.27)、図書館コラボ読書交流会(6.30)、缶バッジ作り(8.8)、多摩六都科学館コラボプラネタリウム(7.28)、ペーパーアーティスト太田隆司氏トークイベント(8.17)
- 第33回テーマ展示×第2回アーティストティックきよせ(4.20～5.26)
- テーマ展示関連講座(日程未定)
- 事業 自然観察会(4.13) 夏休み宿泊体験(8.4、8.5) ミュージアムシアター(6.20、7.18、8.3、8.22) 歴史講座①(9.1) 詳細は清瀬市郷土博物館ホームページへ。

【URL】 <http://www.museum-kiyose.jp/>

31 多摩六都科学館 世界最大級のプラネタリウムドームと5つの展示室がある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12.28～1.3)、その他機器整備の休館あり(4.9～11、5.7～5.9、9.3～9.5)	入館料	大人520円、小人(4歳～高校生)210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎	042-469-6100
------	------------------------	-----	--	-----	--	---	--------------

- 特別展示「多摩六都科学館 30 周年ヒストリー」(3.23～5.6)
多摩六都科学館の30年間の歩みを写真やパネルで振り返ります。
- 30周年夏の特別企画展「ロクト昆虫図鑑」(7.20～9.1)
昆虫の【30】のひみつ大公開！君は昆虫博士になれるか!?
- 全編生解説プラネタリウム「星はめぐる」(3.20～5.19)
空をめぐる星々、公転する惑星たち。宇宙のいろいろな『周期』を探りつつ、多摩六都科学館が開館した30年前の空へタイムスリップします！

【URL】 <https://www.tamarokuto.or.jp>

32 調布市郷土博物館 原始古代から現代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、12.29～1.3、館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	---------------------------------	-----	----	---	--------------

- 企画展「調布市郷土博物館 50 年のあゆみ(仮)」(7.20～12.1)
市民からの寄贈資料や過去の企画展・事業の記録等から郷土博物館 50 年の歩みを振り返ります。
- ギャラリー展「青南国民学校疎開児童の手紙～調布に疎開した子どもたち～(仮)」(7.20～9.23)
調布に学童疎開でやってきた青南国民学校(現港区立青南小学校)の児童の手紙に関するミニ展示です。

※常設展示更新作業のため5.1～7.19は全館休館、7.20～11.17は常設展示室のみ休室する予定です。
やむをえない事情により休館・休室期間が変更される場合がありますので、ウェブページ等でご確認ください。

【URL】 <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/>
【X(旧 Twitter)】 https://twitter.com/chofu_museum

33 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	13:00～17:00 (右記のとおり限定開館)	休館日	4.9～7.4の毎週火曜・水曜・木曜・第3土曜日および9.10～11.14の毎週火曜・水曜・木曜日・月1回の土曜日以外は休館(7.5～9.9は展示替え及び夏季休暇のため休館)	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	-----------------------------	-----	---	-----	----	---	--------------

- 特別展「江戸時代の粧い」(4.9～7.4) 毎週火曜/水曜/木曜/第3土曜日 13:00～17:00の限定開館。
- 特別展「野川流域の旧石器時代」(9.10～11.14) 毎週火曜/水曜/木曜/月1回の土曜日 13:00～17:00の限定開館。
- 第121回公開講座「江戸の衣装革命」(5.11)
国際基督教大学助教・椿田有希子氏による講演。Zoom ウェビナーにて開催(視聴無料・要予約)。
- ランチタイムトーク「私と ICU」(日程未定)
本学教授陣をゲストスピーカーに迎え、往時の思い出を聞くシリーズ企画。Zoom ミーティングにて開催。

【URL】 https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/ 【X(旧 Twitter)】 https://twitter.com/ICU_museum
【Instagram】 https://www.instagram.com/icu_yuasa_museum/
【YouTube】 <https://www.youtube.com/channel/UCg4-jOCyCcnzMGkfHbKdJg/>

34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館					
	武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜日、祝日、年末年始	入館料	無料	☎ 0422-53-1811
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「旧石器時代の井の頭池周辺」(5.11～7.11) 井の頭池遺跡群のなかでも、旧石器時代の遺跡を中心にこれまでの発掘調査史と出土資料についてご紹介します。また、近年行われた発掘調査成果について併せてご紹介します。 ●特集展示「民俗資料関連展示①—端午の節供—」(4.27～6.6) 武蔵野市の年中行事を市史や悉皆調査等の記録から紹介します。室内飾りを中心に関連資料を展示します。 ●特集展示「民俗資料関連展示②—武蔵野の七夕—」(6.22～8.22) 市域で行われていた七夕飾りの再現展示をします。7月初旬に七夕飾りと短冊を入りに口に設置する予定です。 ●企画展「戦争と武蔵野X」(7.27～10.31) 武蔵製作所への空襲の中心であったB29はどこから来たのでしょうか。初空襲から80年経過した今年、新たな映像資料から迫ります。 ●特集展示「民俗資料関連展示③—七五三—」(9.7～10.31) 七五三の由来やかつての武蔵野市の様子を紹介します。七五三に関連する資料や晴れ着を展示します。 <p>【URL】 https://www.city.musashino.lg.jp/heiwa_bunka_sports/furusatorekishikan/</p>						

35	日本獣医生命科学大学付属博物館					
	本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。					
開館時間	10:30～17:00 (入館・物販は16:30まで)	休館日	日・月曜日、祝日、年末年始、大学の定める休日 (臨時休館あり)	入館料	無料	☎ 0422-31-4151
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 歴史系展示室では大学史の紹介を、自然系展示室では野生動物の剥製や骨格標本の展示を行っています。 ●企画展示「日本獣医生命科学大学付属博物館第1回企画展 キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」(～5.31) 上野動物園で誕生し、井の頭自然文化園に引っ越したのち、本学で骨格標本となったキリンの「長次郎」をテーマにした展示です。 ●ミニ展示「おしえて！コウノトリ～日獣大にコウノトリがやってきた～」(～5.31) 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会との連携展示です。 <p>※見学には事前のご予約が必要です。詳細は大学公式サイト博物館ページをご覧ください ※開館日程は事前の告知なく変更になる場合があります</p> <p>【URL】 https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/ (大学公式サイト内博物館ページ)</p>						

36	狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)					
	文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。					
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日 (休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始 (12.28～1.4)	入館料	無料	☎ 03-3489-8981
<ul style="list-style-type: none"> ●年中行事展示 端午の節句、七夕飾り、盆棚飾りなど、節句などに合わせて展示を予定しています。 ●イベント・教室 地域の生活文化や伝統文化を体験する教室などを予定しています。子ども向けの体験教室もあります。詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。 <p>【URL】 http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,html 【X(旧Twitter)】 @komae_muikara</p>						

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口から徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅」東口からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタ サイエンスドーム (八王子市子ども科学館)	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から駅直結 ②京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	福生市郷土資料室	福生市郷土資料室：JR 青梅線「牛浜駅」から徒歩約 7 分 福生市役所・旧ヤマジウ田村家住宅：JR 青梅線「福生駅」から徒歩約 7 分
9	瑞穂町郷土資料館（けやき館）	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
10	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上台北駅」から武蔵村山市内循環バス「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
11	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車徒歩 20 分
12	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②多摩モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
13	日野市立新選組のふるさと歴史館	① JR 中央線「日野駅」から京王バス高幡不動駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分 ②京王線・多摩都市モノレール「高幡不動駅」から京王バス日野駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分
14	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」から京王バス「帝京大学構内」行きに乗車し終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	東村山ふるさと歴史館：西武鉄道新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分 八国山たいけんの里：西武鉄道西武園線「西武園駅」下車徒歩 10 分
18	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ②西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分（いずれも「ハンセン病資料館」で下車）
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分、JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館」下車すぐ
20	たましん歴史・美術館	たましん歴史・美術館：JR 中央線「国立駅」南口前/たましん美術館：JR 中央線「立川駅」北口より徒歩約 6 分
21	パルテノン多摩ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
23	町田市立自由民権資料館	①小田急線「鶴川駅」5 番バス乗り場から「野津田車庫」行きまたは本町田経由「町田駅」行きで「綾部入口」下車 ②小田急線・JR 横浜線「町田駅」21 番バス乗り場から本町田経由「野津田車庫」行きまたは「鶴川駅」行きで「袋橋」下車
24	町田市民文学館ことばらんど	①小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分 ② JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分倍原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小平市鈴木遺跡資料館	①西武新宿線「小平駅」南口から西武バス武蔵小金井駅行き、もしくは JR 中央線「武蔵小金井駅」から西武バス小平駅南口行き「回田本通り」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線「花小金井駅」から立川バス「国分寺駅北口」行き「共済住宅」下車徒歩 10 分
27	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑩「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
28	江戸東京たてもの園	① JR 中央線「武蔵小金井駅」北口バス 2 番 3 番乗り場から西武バス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線「花小金井駅」南口より徒歩 5 分「南花小金井」（小金井街道沿い）停留所から「武蔵小金井駅」行き西武バス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
29	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」nonowa 口から徒歩 10 分
30	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口から徒歩 10 分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
31	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口から徒歩 18 分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」からはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
32	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① JR 中央線「三鷹駅」南口または「武蔵境駅」南口から小田急バス「国際基督教大学」行きにて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで 10 分
34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」から徒歩 12 分 ② JR 中央線「武蔵境駅」北口からムーバス境西循環に乗車し、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
35	日本獣医生命科学大学付属博物館	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口から徒歩 2 分
36	狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」から徒歩 10 分 ②小田急線「狛江駅」北口から「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」（北回り）で「児童公園」バス停前